

GODO
PRINTING INK
MFG. CO.,LTD.

2液タイプ
廃水(廃液)処理薬剤

ユニエース (TypeA/B)
ユニフロック X (TypeA/B)

作業の安全性・作業効率向上に貢献する、2液タイプの廃水処理用薬剤です。

従来の廃液(廃水)処理方法は、一般的に塩化第二鉄・苛性ソーダにて分離処理を行い、凝集剤でフロックを形成する合計3液での薬剤処理が実施されています。しかし、分離処理剤は強酸性・強アルカリ性の2液で、共に皮膚に付着した際の刺激性が非常に強く、取扱いに大変な危険性を伴っています。

また、pH調整に時間を要する為、作業効率化において大きな問題を抱えておりました。

そこでこれらの問題点を解決すべくユニエース・ユニフロックXを開発いたしました。

分離処理剤のユニエースは、少量の添加で廃液中の顔料・樹脂成分を抽出します。また弱酸性の為pH調整が不要です。

凝集剤のフロックX(中性)は微粒子のインキ・樹脂成分を凝集させ、大きなフロックを形成させます。

安全性向上・作業効率向上に効果を発揮いたします。

特長

- あらゆる廃液に使用可能(フレキソインキ・水性ニス等)
- 取扱いが安全でpH調整が不要
- 大きいフロックが形成されます

製品名及び用途

◆ユニエース(分離処理剤)

Type A : 標準品 分離確認にろ紙での確認が必要

Type B : 高効率品 ※経時変化があります。

分離確認は目視でも可能。フロックの沈降が早い。

◆ユニフロック X (凝集剤)

Type A : 標準品 ユニエースTypeA用

Type B : ユニエースTypeB用

※ユニフロックX(TypeA/B)は5倍濃縮品です。

御使用の際に希釈が必要となります。

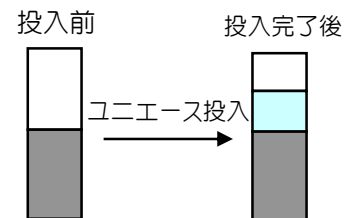
作業上の注意点

- 薬剤の過剰投入は廃液粘度が上がり、ろ過で詰まる可能性があります。その際には廃液の希釈が必要となります。
- 廃液粘度・濃度が高い場合、分離が適正に行われなため、希釈が必要になる場合がございます。
- ユニフロックXの液面が白くなる場合がございますが、攪拌にて再溶解します。品質異常ではございません。

使用方法

1. 廃液を攪拌しながらユニエースを投入します。投入完了の判定はろ紙にて確認して下さい。
※Type Bは目視でも確認可能

分離判定



処理前にろ紙を浸すと、廃液のみがろ紙に付着します。投入完了後は廃液と水の2層に分かれます

フレキソインキ廃液の場合、廃液量の0.1%~0.3%の薬剤で分離します。※廃液濃度によって投入量は変動します。

2. 5倍希釈のユニフロックXを攪拌しながら投入。廃液量の1.0%~3.0%で効果を発揮します。
※廃液内容によって投入量は変動します。フロックが沈降し、分離・凝集の完了です。
3. フィルタープレス等でろ過を実施。(推奨)

お問い合わせ先

 **合同インキ株式会社**
GODO PRINTING INK MFG. CO.,LTD.
<http://www.godoink.co.jp>

■本製品を取り扱う前に製品安全データシート(MSDS)を必ずお読みください。

本 社 : 〒544-0031 大阪府大阪市生野区鶴橋1-6-6
TEL(06)6716-2851 FAX(06)6716-2856